

医療DXへの取り組み要望書提出

提出日:2025年7月14日

私たちは、三豊総合病院における日常診療および院内業務の現状を踏まえ、医療従事者の業務負担軽減と医療の質向上を目的として、三豊総合病院へ医療DXの推進、特にAI音声カルテ入力システムの導入について要望を提出いたしました。

■ 現在認識している主な課題(ひでひでへインタビュー)

- 外来患者数が多く、限られた時間の中で診療とカルテ記載を並行して行う負担が大きい。声によるカルテ入力が可能になれば、診療効率の向上が期待される。
- やや離れた地域から来院する患者が多く、通院・待ち時間の負担軽減が重要である。
- 会議について、対面でなくても支障のない内容まで対面実施となっているケースがあり、Web会議環境が拡充されれば、活用の幅が広がると考えられる。
- 画像解析AIについて、導入されれば診断補助として有用であり、特に救急領域で重宝されると考えられる。
- 文書作成業務(紹介状作成、退院時サマリ作成、入院時フォーマット、同意書など)の負担が大きく、自動作成・支援システムの必要性が高い。
- 院内コミュニケーションについて、病棟や内視鏡室など物理的に距離がある場所や、声を出せない状況において、インカム等による円滑なコミュニケーション手段が求められる。
- PC等のハードウェア面では、キーボードのエンターキー故障など、小さな不具合が日々の業務に大きな支障をきたしている。

■ 要望内容

上記の課題を踏まえ、特に外来診療における業務効率化を目的として、AI音声カルテ入力システムの導入について、チームとして要望書を提出いたしました。

本取り組みは、医師・医療スタッフの負担軽減のみならず、患者への提供価値向上、診療の質の安定化にも寄与するものと考えています。

医療 DX への取組について

当院では、香川県医療施設生産性向上・職場環境整備等支援給付金を利用して、医療の質と業務効率の更なる向上を目的とした医療 DX の活用を推進していきたいと考えています。今後、ICT(情報通信技術)の導入により、患者サービスの向上はもとより、職員の皆さんの業務負担軽減、更には安全で迅速な医療提供体制の構築に寄与出来ればと考えております。

つきましては、当院にて本取組を実施していくにあたり、各部署の皆様より広く医療 DX に関する業務改善案や取り組んでいきたい内容を募集させて頂きたいと思います。

お忙しいところ恐縮ですが、別紙の医療 DX に関する要望書について記入を頂き、7月14日(月)までに医事課へご提出ください。その際、製品等のカタログや見積もりを添付して頂けると幸いです。

医療 DX の導入は、システム変更ではなく働き方や医療の質を変革する機会になると思っています。是非、職員の皆様のご協力をお願いいたします。なお、募集した要望の全てを実施するとは限りませんので、ご了承下さい。

本件につきましてご不明な点やご質問事項等がございましたら、医事課 合田(内線:1230)までご連絡下さい。

【参考】

○医療 DX とは

医療の現場において、デジタル技術を活用して業務プロセスやサービスの質を根本的に変革し、より良い医療を実現する取り組みの事。

○医療 DX や ICT 機器等の導入による業務効率化の例

1. 内視鏡画像や放射線画像の AI 解析
2. RPA(ロボットによる業務プロセスを自動化すること)の導入により、人がパソコン上で行っている定型業務をソフトウェアロボットが記憶し、代わりに自動化し実行するソフトウェアまたはその仕組みの事。
具体的な事例:各種統計資料・勤怠管理・財務資料作成・の自動化、診断書・退院サマリ・症状詳記等の自動文書作成
3. タブレット端末やインカム等を導入し、カルテ記載・カンファレンス・委員会の議事録作成等の際に、AI が音声を自動入力し要約も行う。
4. 離床センサーの導入
5. 床拭きロボットの導入
6. Web 会議設備の拡充

医療 DX に関する要望書

所属部署 _____

所属長名 _____ 印

申請者名 _____ 印

【事業計画】

【導入後予測される効果】

【備考】

※令和 7 年 7 月 14 日（月）までに、医事課へ提出して下さい。